



「お客様とともに成長していく」若手会計事務所

本稿では、実務経営研究会事務局の江面洋治が中小企業の支援に奮戦している若手会計人にお話を伺います。第19回は、Switch税理士法人の代表社員である鈴木雄平先生を取材しました。大手会計事務所出身の鈴木先生は、自身も含めてスタッフ全員が20代という同法人を牽引しています。

Switch税理士法人
東京都千代田区神田佐久間河岸78-6 第二寿ビル3階 電話：03-5833-8875

——まず、鈴木先生の経歴を教えてください。

鈴木 私は大学では商学部の会計学科に進んだのですが、1年生のときに簿記2級に合格することができました。そこでキャリアについて考え、簿記を取得して経理の仕事をするよりは士業を目指したい、そして公認会計士よりもお客様の立場に寄り添う職種だと感じた税理士を志しました。

その後は在学中から受験をし、卒業後は辻・本郷税理士法人に入所しました。募集の要項に「お客様とともに成

長できる人物がほしい」と掲げていたことをよく覚えています。

——実際に会計事務所勤務をスタートされてどのように感じましたか。

鈴木 「お客様とともに成長する」という考えは本当に大切だと思います。2016年にその会計事務所を退職し、現在の税理士法人を設立したのですが、この姿勢は今でも私の体に染み付いています。

私たちの現在のお客様は、独立したての方やベンチャー企業が多く、経営者の方も20代や30代がほとんどです。すると、お客様がどのように事業を展開すべきなのかを一緒に考える機会もあり、それは自分たちの事務所の運営にもつながっています。

——会計事務所とはどのような存在だとお考えですか。

鈴木 経営者にとつてのパートナーだと思っています。「会計事務所には税務だけやってもらえない」と考える経営者もいらつしやると思います。

でも、私たちは採用に関する相談や、経営者のプライベートな相談をいただくこともあります。私たちと付き合っていくことが何かしらの利益になると経営者

に感じてもらえる存在でありたいですね。

——注力している取り組みがあれば教えてください。

鈴木 私たちはお客様と対面でお会いして話す時間を大切にしています。雑談から税務リスクが明らかになることもあります。ですから、お客様のパートナーであるためにはとにかくお話しすること、雑談をすることを一番だと考えているのです。

その時間を作り出すために、クラウド会計ソフトやクラウドツールを積極的に導入して、事務作業の時間を削減しています。

また、社内の教育にも力を入れています。業界未経験者をこの春に2名採用したのですが、日々成長を感じることに楽しみなっています。

——今後の展望をお聞かせください。

鈴木 この税理士法人を立ち上げるにあたり、自分が30歳になる年、来年までに15名規模の事務所にする、この目標を掲げました。

私たちは「先に人を採用して売上を伸ばそう」という考えを持っています。業務に時間をかけずにお客様との「ミ

ユニケーションを大切にするという私たちの考えをスタッフにさらに浸透させて、売上向上につなげたいと思います。これまで私たちは「全員20代の会計事務所」と掲げてきました。このブランドは来年にはなくなりますが、当初の目標通りに成長してきていますし、多くの顧問先も成長しています。今後もこのよいサイクルを続けて、顧問先とともにさらに成長していきたい、と考えています。

——本日はありがとうございました。

鈴木雄平 (すずき・ゆうへい)

Switch税理士法人 代表社員。税理士。1988年生まれ。埼玉県出身。拓殖大学商学部卒。辻・本郷税理士法人での勤務を経て、2016年にSwitch税理士法人を設立、代表社員に就任。



取材を終えて

いつも前向きで、笑顔と周囲への心配りが絶えない鈴木さん。顧問先やパートナー企業、従業員からの信頼が厚いことがうかがえます。だからこそ、20代税理士として活躍される現在があるのでしょう。今後の成長をぜひ追いかけていきたいです。

(江面洋治)

